



富岡市役所新庁舎の落成式・グランドオープンイベントが開催されました

富岡市 都市建設部 都市計画課

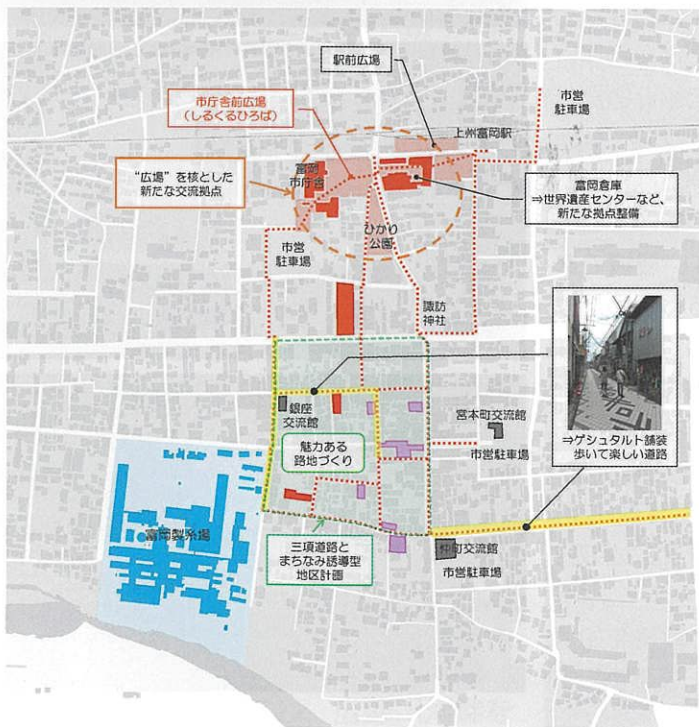
3月24日、富岡市で市役所新庁舎の落成式とグランドオープンイベントが開催されました。建設から50年が経ち、老朽化や住民行政サービス機能が低くなっていた旧庁舎を解体し、その跡地に新庁舎が建築されました。

新庁舎は「市民と共に進化する安全安心な100年庁舎」を基本理念にし、4つの基本方針のもとに整備されました。

この基本方針のひとつに「みんなが集うまちづくりのシンボルとなる庁舎」と掲げています。



このため「新庁舎前広場(しるくるひろば)」や新庁舎(議会棟)のエントランスは、さまざまなイベントや市民活動の場として利用できるようになっており、オープニングイベントではたくさんの市民の方が集う、さまざまな催しが行われていました。



新庁舎の東側には、平成30年度完成予定の世界遺産センター(仮称)が整備される富岡倉庫があります。また市街地の玄関口である上信電鉄・上州富岡駅などから世界遺産・富岡製糸場につづく動線上に位置しているため、富岡倉庫を含めた一体的な活用により、新たなまちづくりの拠点として機能することを期待しています。

今後は、市と県が協力して新庁舎と富岡倉庫の間を通る県道前橋安中富岡線の改良や、統一的な景観の整備などを実施し、まちなかのにぎわい拠点の創出を図っていきたく考えています。

